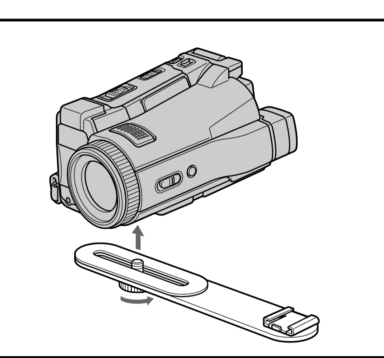
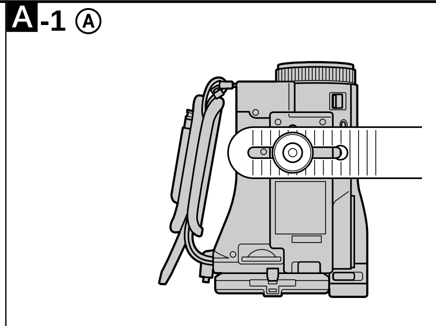
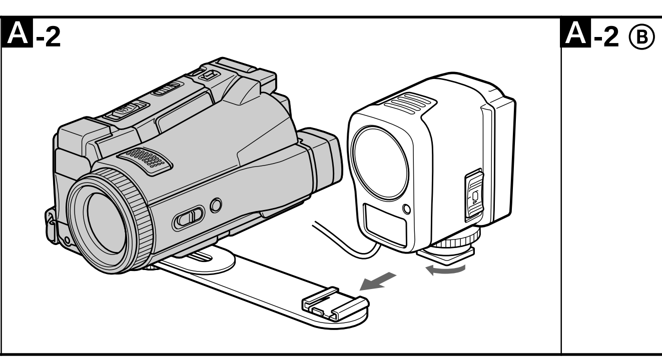
A-1



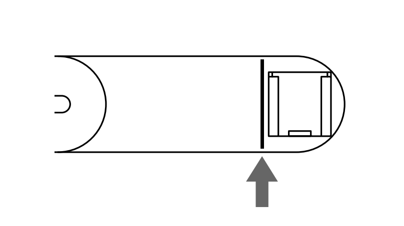
A-1 Ⓐ



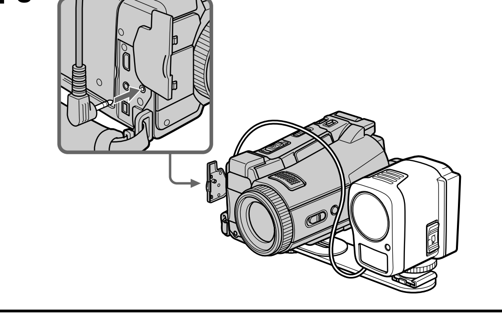
A-2

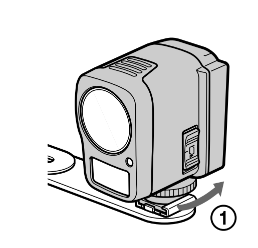


A-2 Ⓑ



A-3





SONY

3-078-474-**01** (1)

ビデオフラッシュライト
Video Flash Light

取扱説明書/Operating Instructions/
Mode d'emploi/Manual de instrucciones

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HVL-F5DF

日本語

主な特長

- ビデオカメラに取り付けて使う、フラッシュとライトの機能を兼ね備えた、1台2役のビデオフラッシュライトです。
- ライト部は、電源モードスイッチに連動して電源のON／OFFができます。
- フラッシュ部は、フォトモード機能付きビデオカメラのフォトモード撮影に対応しています。
  また、被写体との距離に合わせて光量を調節することで、撮影した映像が白く飛んでしまうのを防ぎます。

主な仕様

ランプ部

ランプ電圧	DC 6 V
ランプ	5 W
最大光度	約200cd
照射方向	水平
照射角度	20度

ランプ点灯時連続照射時間（フラッシュ不使用時）

バッテリー	使用時
NP-FF50	約40分
NP-FF70	約90分

（上記はそれぞれのバッテリーが充分に充電されている場合の、おおよその時間を示しています。）

撮影距離	1m：約200ルクス 2m：約50ルクス 3m：約20ルクス
色温度平均	3 000K
ランプ寿命	約100時間

フラッシュ部

フラッシュ寿命	約1 500回
ガイドNO.	14相当（メモリーフォト時）
色温度	5 500K

その他

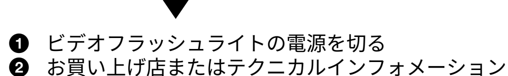
消費電力	5.5 W
外形寸法（最大突起部を除く）	約45 × 77 × 64 mm（幅/高さ/奥行き）
質量	約100g
付属品	シューアダプター（1個） 取扱説明書 保証書（1部）
別売りアクセサリー	交換用ハロゲンランプ、XB-5DX

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わずに、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する
- 万一、異常が起きたら



変な音やにおい、煙が出た場合は

❶ ビデオフラッシュライトの電源を切る
❷ お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する

警告表示の意味

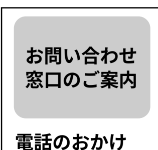
取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



お問い合わせ窓口のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

■ テクニカルインフォメーションセンター
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。

電話：0564-62-4979
受付時間：月～金曜日
午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お電話される際に、本機の型名（HVL-F5DF）をお知らせください。
より迅速な対応が可能になります。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.net/

Printed on recycled paper

注意を促す記号 / 行為を禁止する記号





下記の注意事項を守らないと、火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

点灯したまま放置しない
放置したまわりの状況によっては火災の原因となることがあります。使用しないときは必ずビデオカメラの電源スイッチおよびビデオフラッシュライトのPOWERスイッチを「OFF」にしてください。（禁止）

ビデオカメラに取り付けたままケースに収納しない
万一誤ってビデオカメラの電源スイッチまたはビデオフラッシュライトのPOWERスイッチが「ON」になると、発煙、発火の原因となることがあります。（禁止）

点灯中と消灯直後のランプにさわらない
ランプ及びその周辺は非常に高温になるのでやけどの恐れがあります。ランプの交換や収納は充分に冷えてから行ってください。（接触禁止）

指定以外のランプは使用しない
火災の原因となります。（禁止）

放熱孔をふさがない
内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。（禁止）

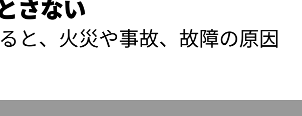
紙や布などの燃えやすいものを近付けない
火災の原因となります。（禁止）

湿気やほこりの多い場所では使わない
感電や火災の原因となることがあります。（禁止）

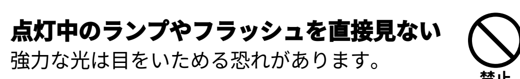
アルコールやベンジンなど揮発性、引火性の高い薬品を近付けたりライトの近くに置いたりしない
発火、発煙の恐れがあります。（禁止）

分解しない
内部には電圧の高い部分があり、分解したりすると感電の原因となります。
内部の点検などはお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。（分解禁止）

内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を落とさない
そのまま使用すると、火災や事故、故障の原因となります。（禁止）



⚠注意 下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



点灯中のランプやフラッシュを直接見ない
強力な光は目をいためる恐れがあります。（禁止）

取り扱い上のご注意

- 点灯中のライトにショックを与えないでください。ランプが切れたり寿命が短くなったりすることがあります。
- ビデオフラッシュライトを持って、ビデオカメラを持ち上げないでください。

高温のご注意
点灯中と消灯直後の前面部（ガラスやランプ）は、非常に高温になるので充分ご注意ください。

- 使用しないときは必ずPOWERスイッチを「OFF」にしてください。
- 保護カバーをはずしたままランプを点灯しないでください。
- ある一定の電圧までさがるとライトが突然消えることがありますが、故障ではありません。電源を切り、バッテリーパックを再充電するか、別の充電されたバッテリーパックをご使用ください。
- 熱いガラスに水がかかると破損することがあり危険です。
- 使用中、保管中にかかわらず次のような場所には置かないでください。故障や変形の原因となります。
  - 炎天下や夏場の窓を閉めきった自動車内のように異常に高温になる所。
  - 直射日光の当たる場所、熱器具の近く。
  - 激しい振動のある場所。

使い終わったら
- POWERスイッチを必ず「OFF」にしてください。
- 充分に冷めていることを確認してから収納してください。

使用しないときやケースなどに収納するときには、必ずバッテリーパックをはずしてください。

お手入れのしかた

時々、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布でふいてから、もう一度からぶきしてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

A 取り付ける

ビデオフラッシュライトをシューアダプターまたは、ビデオカメラ本体に取り付ける際は、ビデオフラッシュライトのPOWERスイッチが「OFF」の状態で行ってください。
ビデオカメラ本体にアクセサリーシューがあるときは、ビデオカメラ本体のアクセサリーシューに取り付けてください。
アクセサリーシューがないときは、付属のシューアダプターをご使用ください。

シューアダプター使用時
1 ビデオカメラの三脚ネジ穴にシューアダプターを取り付ける。
　矢印の方向に回して、しっかり締めます。
　Ⓐビデオカメラとシューアダプターを取り付ける目安。
2 ビデオフラッシュライトを取り付ける。
　発光部を前にして、シューアダプターにしっかりと差し込みます。
　シューアダプターのビデオフラッシュライト取り付け部は回転可能です。
　ビデオフラッシュライトを希望する方向へ向けてください。
　ライト固定つまみを矢印の方向に回して締める。
　Ⓑビデオフラッシュライトの向きを合わせる目安。
　•フラッシュで撮影する場合は、ビデオカメラと平行になるように取り付けてください。
　•ライトで撮影する場合は、ライトの光が画面のセンターになるよう、シューアダプターのビデオフラッシュライト取り付け部を回転させてください。
3 LANCケーブルをつなぐ。
　ビデオフラッシュライトからでているLANCケーブルをビデオカメラのLANC端子につなぐ。

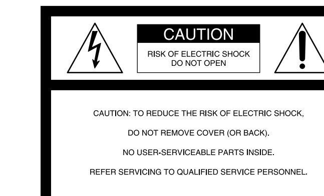
取りはずすとき
1 ビデオフラッシュライトのPOWERスイッチを「OFF」にする。
2 LANCケーブルをLANC端子から取りはずす。
3 ライト固定つまみを矢印①側に回してゆるめる。
4 ビデオフラッシュライトをシューアダプターよりはずす。
5 シューアダプターをビデオカメラよりはずす。

ご注意
- ビデオフラッシュライトが差し込めないときは、固定つまみを矢印①側に止まるまで回してから、再度差し込んでください。
- ビデオフラッシュライトを逆に差し込まないよう、差し込み方向を示す矢印の方向を確認してから取り付けてください。

English

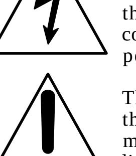
WARNING

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.
To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.





This symbol is intended to alert the user to the presence of uninsulated "dangerous voltage" within the product's enclosure that may be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons.



This symbol is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the appliance.

NOTE
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, these is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
— Reorient or relocate the receiving antenna.
— Increase the separation between the equipment and receiver.
— Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
— Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

Features
- When attached to a camcorder this unit functions as a video light and flash.
- Video light ON / OFF is controlled by the POWER mode switch of the camcorder.
- The video flash can only be used on a camcorder with the PHOTO recording function. As the brightness of the flash is automatically adjusted according to the distance of the subjects, your picture does not become whitish with too much brightness.

Precautions

Caution for heat
Be careful not to touch the lighting section because the glass window and surrounding surfaces are hot while the light is on and just after it is turned off.

- Never look directly at the bulb while the video light or flash is on.
- Avoid placing the video flash light near combustible or volatile solvents such as alcohol or benzine.
- Do not let any solid object or liquid fall onto or into the video flash light.
- Do not knock or jolt the video flash light while it is turned on as it may damage or shorten the life of the bulb.
- Do not leave the video light on while it is resting on or against something; it may cause a fire or damage the video flash light.
- Do not pick up the camcorder by the head of the video flash light.
- Remove the video flash light before putting the camera into a carrying case.
- Do not place anything over the ventilation grill.
- When the cover is hot do not allow it to get wet.
- Do not leave the power switch of the video flash light on when it is not in use.
- Do not turn the video flash light on without attaching the front cover.
- If battery voltage drops to a certain level, the video flash light may not function suddenly. This is not a malfunction. In this case, turn off the power, then charge the battery pack again or use another fully charged battery pack.
- When the front cover is hot, do not allow it to get wet. Otherwise, the video flash light may be damaged, or personal injury could result.
- Do not place the video flash light in the following locations as it may be damaged or deformed:
  - extremely high temperature, such as in a car parked in the sun
  - directly in the sun, or near a heater
  - extreme vibration

After use
- Set the power switch to OFF.
- Make sure the video flash light has cooled down before storing it.

Be sure to remove the battery pack when the video flash light is not in use or stored in its case, etc.

On cleaning

Clean the video flash light with a dry soft cloth. You can remove stubborn stains with a cloth lightly dampened with a mild detergent solution, then dry the unit with a soft cloth.
Never use strong solvents, such as thinner or benzine, since these will damage the finish on the surface.

Specifications

Video light segment

Power requirements	6 V DC
Lamp	5 W
Maximum luminous intensity	Approx. 200 cd
Lighting direction	Horizontal
Lighting angle	20 degrees

Continuous lighting time

Type of battery pack	Lighting duration
NP-FF50	40
NP-FF70	90

(Approx. minutes using fully-charged battery pack)

Illumination range	Approx. 1 m (3 1/5 ft) 200 lux, Approx. 2 m (6 1/2 ft) 50 lux, Approx. 3 m (9 4/5 ft) 20 lux
Color temperature	3 000 K
Average life of bulb	Approx. 100 hours

Video flash segment

Flash life	Approx. 1 500 times
Guide no.	equivalent to 14 (Memory Photo recording)
Color temperature	5 500 K

Others

Power consumption	5.5 W
Dimensions (excluding projecting parts)	Approx. 45 × 77 × 64 mm (1 13/16 × 3 1/8 × 2 5/8 inches) (w / h / d)
Mass	Approx. 100 g (3 1/2 oz.)
Accessories (supplied)	Shoe adapter (1) Operating instructions
Accessory (not supplied)	Halogen lamp XB-5DX

Design and specifications are subject to change without notice.

A Attaching the video flash light

Set the power switch of the video flash light to OFF before attaching it to the shoe adapter or your camcorder.
If your camcorder has the accessory shoe for the video flash light, attach the video flash light directly to the accessory shoe.
Use the supplied shoe adapter when the accessory shoe is not provided on the camcorder.

Using the shoe adapter
1 Attach the shoe adapter to the tripod receptacle of the camcorder.
  Turn the knob of the shoe adapter in the direction of the arrow to tighten firmly.
  Ⓐ The guide marks to attach the camcorder to the shoe adapter.
2 Attach the video flash light to the shoe adapter.
  Make sure that the lighting section faces to the front and slide it firmly into the shoe adapter.
  You can turn the attached video flash light to the desired direction.
  Point the video flash light in the desired direction.
  Turn the lock knob in the direction of the arrow to tighten.
  Ⓑ The point to adjust the direction of the video flash light.
  •Attach the video flash light in parallel with the camcorder when recording with the video flash.
  •Turn the video flash light to illuminate the central area of pictures when recording with the video light.
3 Connect the LANC cable.
  Connect the LANC cable of the video flash light to the LANC jack of the camcorder.

Removing the video flash light
1 Set the power switch of the video flash light to OFF.
2 Remove the LANC cable from the LANC jack of the camcorder.
3 Loosen the lock knob by turning it in the direction of the arrow ①.
4 Remove the video flash light from the shoe adapter.
5 Remove the shoe adapter from the camcorder.

Notes
- If you cannot insert the video flash light into the shoe adapter, turn the lock knob in the direction of the arrow ① fully and insert the video flash light again.
- Mount the video flash light correctly, observing the direction of the arrow on the shoe adapter.

Français

AVERTISSEMENT

Afin d'éviter tout risque d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.
Afin d'écarter tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un professionnel.

Caractéristiques
- Rattaché à un camescope, cet appareil sert de lampe et de flash vidéo.
- La mise en marche ou l'arrêt (ON / OFF) de la lampe vidéo est contrôlée par l'interrupteur POWER du caméscope.
- Le flash vidéo ne peut être utilisé qu'avec un camescope présentant le mode PHOTO. Comme la luminosité du flash est automatiquement ajustée en fonction de la distance du sujet, la photo ne risque pas d'être surexposée sous un éclairage lumineux.

Précautions

Attention à la chaleur
Faites attention à ne pas toucher la section d'éclairage car la fenêtre en verre et les surfaces environnantes sont chaudes quand la lampe est allumée et juste après avoir été éteinte.

- Ne jamais regarder directement l'ampoule quand la lampe ou le flash vidéo sont allumés.
- Evitez de poser la lampe-flash vidéo près de combustibles ou de solvants volatils, comme l'alcool ou la benzine.
- Veillez à ne pas laisser tomber de solide ni de liquide sur ou dans la lampe-flash vidéo.
- Ne pas cogner ni secouer la lampe-flash vidéo quand elle est éclairée afin de ne pas l'endommager ou de ne pas réduire la durée de vie de l'ampoule.
- Ne pas laisser la lampe-flash vidéo allumée quand elle est posée sur ou contre quelque chose. Il y a risque d'incendie ou la lampe pourrait être endommagée.
- Ne pas saisir le camescope par la lampe-flash vidéo.
- Enlevez la lampe-flash vidéo avant de ranger le camescope dans sa sacoche de transport.
- Ne rien poser sur la grille de ventilation.
- Quand le capot de la lampe est trop chaud, ne pas le mouiller.
- Ne laissez pas l'interrupteur d'alimentation de la lampe flash-vidéo sur ON si vous ne l'utilisez pas.
- N'allumez pas la lampe flash-vidéo sans fixer le cache avant.
- Si la tension de la pile chute à un certain niveau, la lampe flash-vidéo peut cesser de fonctionner tout à coup. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement. Dans ce cas, mettez la lampe hors tension, puis rechargez le bloc batterie ou utilisez un autre bloc entièrement rechargé.
- Si le cache avant est chaud, ne le mouillez pas. Sinon, vous risquez d'endommager la lampe flash-vidéo ou de vous blesser.
- N'installez pas la lampe flash-vidéo dans les endroits suivants car elle risque de s'abîmer ou de se déformer :
  - endroits soumis à une température très élevée, comme une voiture stationnée en plein soleil
  - en plein soleil ou à proximité d'un appareil de chauffage
  - endroits soumis à de fortes vibrations.

Après utilisation
- Réglez l'interrupteur d'alimentation sur OFF.
- Assurez-vous que la lampe-flash vidéo s'est refroidie avant de la ranger.

Lorsque vous n'utilisez pas la lampe-flash vidéo ou que celle-ci est rangée dans son boîtier, enlevez le bloc batterie.

Nettoyage

Nettoyez la lampe-flash vidéo avec un chiffon doux et sec. Vous pouvez enlever les tâches rebelles avec un chiffon légèrement imprégné de détergent neutre, puis essuyez la lampe avec un chiffon doux.
Ne jamais utiliser de solvants puissants, tel qu'un diluant ou de la benzine, car ils peuvent endommager la finition.

Spécifications

Section Lampe vidéo

Alimentation	6 V CC
Lampe	5 W
Intensité lumineuse maximale	Env. 200 cd
Direction d'éclairage	Horizontale
Angle d'éclairage	20 degrés

Temps d'éclairage continu

Type de batterie rechargeable	Temps d'éclairage
NP-FF50	40
NP-FF70	90

(Env. en minutes avec une batterie rechargeable pleine)

Plage d'illumination	Env. 1 m (3 1/5 ft) 200 lux, Env. 2 m (6 1/2 ft) 50 lux, Env. 3 m (9 4/5 ft) 20 lux
Température de couleur	3 000 K
Durée de vie moyenne de l'ampoule	Env. 100 heures

Section Flash vidéo

Durée de vie du flash	Env. 1 500 éclairs
Nombre guide	Equivalent à 14 (Enregistrement de photos dans la mémoire)
Température de couleur	5 500 K

Divers

Consommation	5.5 W
Dimensions (parties saillantes non comprises)	Env. 45 × 77 × 64 mm (1 13/16 × 3 1/8 × 2 5/8 po.) (l / h / d)
Poids	Env. 100 g (3 1/2 on.)
Accessoires (fournis)	Griffe porte-accessoires (1) Mode d'emploi (1)
Accessoire (non fourni)	Lampe halogène XB-5DX

La conception et les spécifications peuvent être modifiées sans avis préalable.

A Fixation de la lampe flash-vidéo

Réglez l'interrupteur d'alimentation de la lampe-flash vidéo sur OFF avant de la fixer sur la griffe porte-accessoires ou le caméscope.
Si le caméscope possède un porte-accessoires pour la lampe-flash vidéo, fixez celle-ci directement sur la griffe porte-accessoires.
Utilisez la griffe porte-accessoires fournie si le porte-accessoires n'est pas fourni avec le caméscope.

Utilisation de la griffe porte-accessoires
1 Fixez la griffe porte-accessoires à la douille du trépied du caméscope.
  Tournez la bague de la griffe porte-accessoires dans le sens de la flèche pour la bloquer.
  Ⓐ Repères pour fixer le caméscope sur la griffe porte-accessoires.
2 Fixez la lampe flash-vidéo sur la griffe porte-accessoires.
  Vérifiez que la partie éclairante est bien orientée vers l'avant et glissez-la fermement dans la griffe porte-accessoires.
  Vous pouvez orienter la lampe-flash vidéo dans la direction de votre choix.
  Orientez la lampe flash-vidéo dans la direction souhaitée.
  Tournez la bague de blocage dans le sens de la flèche pour la bloquer.
  Ⓑ Point pour ajuster l'orientation de la lampe-flash vidéo.
  •Fixez la lampe-flash vidéo parallèlement au caméscope lorsque vous enregistrez avec le flash vidéo.
  •Tournez la lampe-flash vidéo pour éclairer la zone centrale des images lorsque vous enregistrez avec la lampe vidéo.
3 Branchement du câble LANC.
  Branchez le câble LANC de la lampe flash-vidéo à la prise LANC du caméscope.

Pour enlever la lampe-flash vidéo
1 Réglez l'interrupteur d'alimentation de la lampe vidéo sur OFF.
2 Débranchez le câble LANC de la prise LANC du caméscope.
3 Desserrez la bague de blocage en la tournant dans le sens de la flèche ①.
4 Retirez la lampe flash-vidéo de la griffe porte-accessoires.
5 Retirez la griffe porte-accessoires du caméscope.

Remarques
- Si vous ne parvenez pas à insérer la lampe-flash vidéo dans la griffe porte-accessoires, tournez la bague de blocage complètement dans le sens de la flèche ① puis réinsérez la lampe-flash vidéo.
- Montez correctement la lampe-flash vidéo, en respectant le sens de la flèche sur la griffe porte-accessoires.

Español

ADVERTENCIA

Para evitar incendios o descargas eléctricas, no exponga la unidad a la lluvia ni a la humedad.
Para evitar descargas eléctricas, no abra la unidad. En caso de avería, solicite los servicios de personal cualificado.

Características
- Fijada a una videocámara, esta unidad funcionará como lámpara para vídeo y como flash.
- La lámpara para vídeo se activa y desactiva (ON / OFF) mediante el interruptor POWER de la videocámara.
- El flash para vídeo solamente podrá utilizarse con una videocámara con función de videofilmación PHOTO. Como el brillo del flash se ajusta automáticamente de acuerdo con la distancia hasta el motivo, es posible que sus imágenes no resulten blanquecinas con demasiado brillo.

Precauciones

Precauciones para evitar el recalentamiento
Tenga cuidado de no tocar la sección de iluminación porque la ventanilla de cristal y las superficies circundantes estarán calientes cuando la lámpara esté encendida e inmediatamente después de haberla apagado.

- No mire directamente hacia la bombilla cuando la lámpara / flash para vídeo esté encendida.
- Evite colocar la lámpara / flash para vídeo cerca de combustibles o disolventes volátiles, como alcohol o bencina.
- No permita que dentro de la lámpara / flash para vídeo entre ningún objeto sólido ni líquido.
- No golpee ni sacuda la lámpara / flash para vídeo mientras esté encendida, ya que podría dañarla o acortar la duración de la bombilla.
- No deje la lámpara / flash para vídeo encendida sobre ni apoyada contra nada, porque podría provocar un incendio o dañarla.
- No tome la videocámara por la cabeza de la lámpara / flash para vídeo.
- Quite la lámpara / flash para vídeo antes de colocar la videocámara en una caja de transporte.
- No coloque nada sobre la rejilla de ventilación.
- Cuando la cubierta esté caliente, no permita que se humedezca.
- Apague el interruptor de alimentación de la lámpara / flash para vídeo cuando no la utilice.
- Monte la cubierta frontal antes de encender la lámpara / flash para vídeo.
- Si el voltaje de la batería desciende hasta un determinado nivel, es posible que la lámpara / flash para vídeo deje de funcionar de forma repentina. No se trata de un error de funcionamiento. Si esto sucede, apague la alimentación y vuelva a cargar la batería o utilice otra batería totalmente cargada.
- Si la cubierta frontal está caliente, evite que se moje. De lo contrario, pueden producirse lesiones físicas o daños en la lámpara de flash para vídeo.
- Para evitar que la lámpara / flash para vídeo se dañe o se deforme, evite colocarla en lugares:
  - expuestos a temperaturas extremadamente altas, como en un automóvil estacionado al sol
  - expuestos a la luz solar directa o cerca de un calefactor
  - expuestos a vibraciones muy fuertes

Después de la utilización
- Ponga el interruptor de alimentación en OFF.
- Asegúrese de que la lámpara / flash para vídeo se ha enfriado antes de almacenarla.

Retire la batería cuando no utilice la lámpara / flash para vídeo o cuando la guarde en su estuche, etc.

Limpieza

Limpie la lámpara / flash para vídeo con un paño suave y seco. Usted podrá eliminar las manchas difíciles con un paño ligeramente humedecido en una solución muy diluida de detergente, y después secándola con un paño suave.
No utilice nunca disolventes fuertes, como diluidor de pintura o bencina, ya que podrían dañar el acabado de la superficie.

Especificaciones

Segmento de la lámpara para vídeo

Alimentación	6 V CC
Bombilla	5 W
Intensidad luminosa máxima	Aprox. 200 candelas
Dirección de iluminación	Horizontal
Ángulo de iluminación	20 grados

Tiempo de iluminación continua

Tipo de batería	Duración de iluminación
NP-FF50	40
NP-FF70	90

(Minutos aproximados utilizando una batería completamente cargada)

Alcance de iluminación	Aprox. 1 m, 200 lux, Aprox. 2 m, 50 lux, Aprox. 3 m, 20 lux
Temperatura de color	3 000 K
Duración media de la bombilla	Aprox. 100 horas

Segmento del flash para vídeo

Duración del flash	Aprox. 1 500 veces
Número guía	Equivalente a 14 (Grabación de fotos en la memoria)
Temperatura de color	5 500 K

Otros

Consumo	5.5 W
Dimensiones (excluyendo las partes salientes)	Aprox. 45 × 77 × 64 mm (an / al / prf)
Masa	Aprox. 100 g
Accesorios (suministrados)	Adaptador para zapata (1) Manual de instrucciones (1)
Accesorio (no suministrado)	Bombilla halógena XB-5DX

El diseño y las especificaciones están sujetos a cambio sin previo aviso.

A Montaje de la lámpara/flash para vídeo

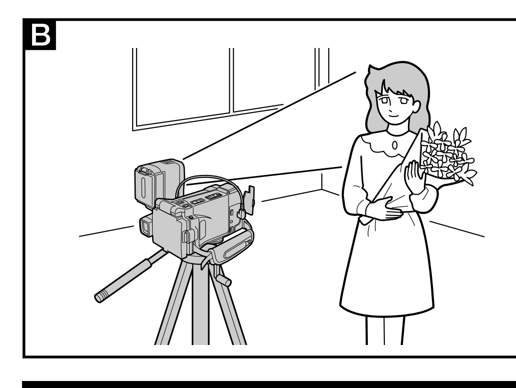
Ajuste el interruptor de alimentación de la lámpara / flash para vídeo en OFF antes de colocarla en el adaptador para zapata o la videocámara.
Si la videocámara dispone de la zapata accesoria para la lámpara / flash para vídeo, instale dicha lámpara directamente en la zapata accesoria.
Utilice el adaptador para zapata suministrado en el caso de que la zapata accesoria no se incluyese con la videocámara.

Utilización del adaptador para zapata
1 Monte el adaptador para zapata en el receptáculo del trípode de la videocámara.
  Fije el adaptador para zapata girando el mando en el sentido de la flecha.
  Ⓐ Marcas de la guía para unir el adaptador para zapata a la videocámara.
2 Monte la lámpara / flash para vídeo en el adaptador para zapata.
  Cerciórese de que la sección de destello quede encarada hacia adelante e introdúzcala con firmeza en el adaptador para zapata.
  Es posible girar la lámpara / flash para vídeo instalada hacia la dirección deseada.
  Oriente la lámpara / flash para vídeo en el sentido deseado.
  Gire el mando de bloqueo en el sentido de la flecha para fijarlo.
  Ⓑ Punto donde ajustar la dirección de la lámpara / flash para vídeo.
  •Coloque la lámpara / flash para vídeo de modo que quede paralela a la videocámara cuando utilice el flash para vídeo para grabar.
  •Gire la lámpara / flash para vídeo para iluminar el área central de las imágenes cuando grabe con dicha lámpara.
3 Conecte el cable LANC.
  Conecte el cable LANC de la lámpara / flash para vídeo en la toma LANC de la videocámara.

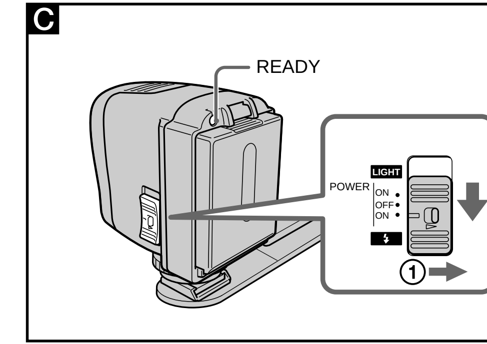
Para desmontar la lámpara/flash para vídeo
1 Ponga el interruptor de alimentación de la lámpara para vídeo en OFF.
2 Desenchufe el cable LANC de la toma LANC de la videocámara.
3 Afloje el mando de bloqueo girándolo en el sentido de la flecha ①.
4 Retire la lámpara / flash para vídeo del adaptador para zapata.
5 Retire el adaptador para zapata de la videocámara.

Notas
- Si no puede insertar la lámpara / flash para vídeo en el adaptador para zapata, gire por completo el mando de bloqueo en el sentido de la flecha ① e inserte de nuevo la lámpara / flash para vídeo.
- Coloque la lámpara / flash para vídeo correctamente, siguiendo el sentido de la flecha del adaptador para zapata.

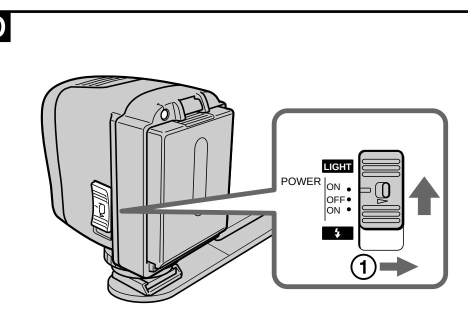
B



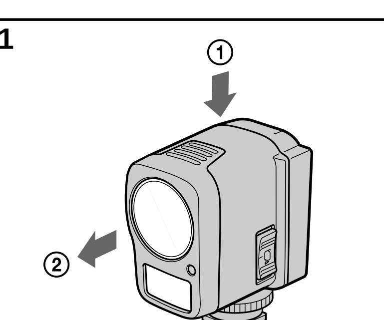
C



D



E



F-1 **F-2** **F-3**

日本語

B 被写体へのライトの当てかた

- 室内撮影などに使用すると、被写体をきれいに写せます。
- 広角の画面撮影時には周辺の光量が不足します。その時は中央の被写体に効果的なスポットライトとしてご使用ください。
- 逆光の場合、ライトを併用すると、被写体の大切なポイント（人物の顔など）が暗くなりません。屋外撮影では、カメラを太陽に向けないようにご注意ください。室内照明が蛍光灯の場合、画像にちらつきがでることがあります。ビデオフラッシュライトを併用すると色ムラが消え、比較的きれいな画像になります。

C ビデオフラッシュを使う

フラッシュはフォトモード機能付きのビデオカメラで使えます。
ここではDCR-IP220を例に説明しています。ビデオカメラの詳しい操作については、お手持ちのビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。
（なお、カメラモードを基準に説明しておりますが、メモリーモードでも使用できます。）

1 ビデオカメラの電源スイッチを「カメラ」にする。

2 ビデオフラッシュライトのPOWERスイッチにある緑のボタンを矢印①側に押しながら⚡にスライドさせ「ON」にする。
ビデオフラッシュライトが充電を始め、READYランプが点滅します。充電が完了すると、READYランプが点灯に変わります。

3 ビデオカメラのフォトボタンを軽く押したまま画像を確認する。フォトボタンは軽く押したままにしておく。
フラッシュがフォトボタンに連動して発光します。画像が静止画になり、メモリー表示が出ます。
このとき記録はされません。
画像を選びなおすときはフォトボタンを離します。フォトボタンを離すと、ビデオフラッシュライトは再び充電を始めます。READYランプがついてからもう一度フォトボタンを軽く押してください。

フォトボタンを押すと、ビデオカメラが明るさを自動調節するために、画像が暗くなったり、色が変わって見えることがあります。

4 ビデオカメラのフォトボタンを強く押し込む。
フォトボタンを押し込んだとき、バーのスクロール表示が終わると、記録が完了します。記録中は取り込んだ画像がファインダーまたは液晶画面に出ています。
フォトボタンを離すと、画像の記録後、ビデオフラッシュライトは自動的に充電を開始します。

使い終わったら
ビデオフラッシュライトのPOWERスイッチを「OFF」にする。

ご注意
- ビデオフラッシュと被写体との距離は、暗い部屋で約1～5mが目安です。
- 撮影時、ビデオフラッシュライトのセンサー部Ⓐを指などでふさがないでください。被写体との距離がわからなくなり、光量を調節できなくなります。
- ビデオフラッシュライトが充電されたあとでも、次の場合には使用時に再充電されます。
  – ビデオフラッシュライトのPOWERスイッチを「OFF」にしたあと
  – ビデオカメラの電源スイッチを「OFF」にしたあと

D ビデオライトを使う

ビデオカメラのスタンバイ状態と連動して点灯させる

1 ビデオカメラの電源スイッチをモードON状態にする。

2 ビデオフラッシュライトのPOWERスイッチにある緑のボタンを矢印①側に押しながら「LIGHT ON」にするとライトが点灯します。

3 ビデオカメラの電源スイッチをモードON/OFFにします。連動してライトが点灯/消灯します。

使い終わったら
ビデオフラッシュライトのPOWERスイッチを「OFF」にする。

ご注意
収納するときは、ビデオフラッシュライトが充分に冷めているのを確認してください。

E バッテリーの取り付けかた

バッテリーパックはNP-FF50/FF70をご利用ください。

1 ビデオフラッシュライトのPOWERスイッチを「OFF」にする。

2 バッテリーの端子をビデオフラッシュライトの端子に合わせ、カチッとロックするまでしっかりはめる。

バッテリーの取りはずしかた
1 ビデオフラッシュライトのPOWERスイッチを「OFF」にする。

2 バッテリー取りはずしつまみを矢印①の方向へ押し下げて、矢印②の方向にバッテリーを取りはずす。（イラストE参照）

ご注意
- バッテリーパックは、必ずPOWERスイッチを「OFF」にしてから交換してください。
- 寒いところでは、バッテリーパックを使用できる時間が短くなります。
温度が低い（10℃以下）と、バッテリーパックの性能が低下するためです。
より長い時間ご使用になるためには、次のことをおすすめします。
  - バッテリーパックをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前にバッテリーをビデオフラッシュライトに取り付ける。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーパックに触れないように、ご注意ください。
  - 充電は室温（10～30℃）で、ACアダプターに取り付けて行ってください。

F ランプを交換するには

交換用ランプはソニーハロゲンランプ、XB-5DX（別売り）をお使いください。
点灯中に切れた場合はランプ本体が冷えてから交換してください。

1 本体が冷えたことを確認後、フロントカバーをはずす。
①を矢印の方向に押し、ロックツメをはずす。
②の矢印の方向に引っぱってはずす。

2 ランプが充分に冷えてからランプの根元をもって差し替える。
ランプの根元の差し込み口にまっすぐに抜き差しする。

3 反射板の穴にランプが入るようにしてフロントカバーをまっすぐに取り付ける。
フロントカバーを①の部分に合わせる。
②の部分を矢印の方向にツメがロックするまで押す。

ご注意
- 点灯中に切れたランプは、高温になっています。ランプが冷えてから交換してください。
- 新しいランプは直接手で触れずに、乾いた布などでくるんで取り付けてください。ランプの表面に指紋や汚れが付いたときは、きれいに拭き取ってください。
- 内部には電圧の高い部分があり、分解したりすると感電の原因となります。
- 内部の点検などはお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正常に作動しないときは、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

症状	原因／対処
ビデオカメラ電源スイッチ「OFF」時、ビデオフラッシュライトのPOWERスイッチをライト「ON」にすると点灯する。	ビデオカメラの電源を「OFF」時には、ビデオフラッシュライトはビデオカメラの電源スイッチには連動しません。 ➔ 連動させるときは、ビデオカメラの電源を「ON」→「OFF」にしてください。
ビデオカメラ電源「ON」時、LANCケーブルを抜くと、ビデオフラッシュライトのPOWERスイッチがライト「ON」でも自動的にランプは消えます。	故障ではありません。
ビデオカメラ電源「OFF」時、ビデオフラッシュライトのPOWERスイッチをライト「ON」にしてLANCケーブルを抜いても、ビデオフラッシュライトは点灯したままです。	故障ではありません。ライトを消すときは、ビデオフラッシュライトのPOWERスイッチを「OFF」にしてください。 LANCケーブルを取り付けていないときは、ビデオフラッシュライトのPOWERスイッチをライト「ON/OFF」にしてライトを点灯/消灯します。

LED表示
フラッシュモード
橙点滅 ⟶ 点灯
（充電中）　（充電完了）

ライトモード
橙点滅
（バッテリー残量が少ない）

橙LED早い点滅は以下の原因があります。
- バッテリーの容量がありません。
➔ 充分充電してください。
- ハロゲンランプを交換。
➔ ランプの定格を確認してください。
- バッテリー不良。
➔ 新しいバッテリーに交換してください。

保証書とアフターサービス

保証書について
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
お買い上げ店、またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
- 型名：HVL-F5DF
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日

English

B Lighting up a subject

- When recording indoors with this unit, you can get clear and beautiful color pictures.
- For wide angle shots, the video light may not light the corners of pictures completely. Use the video light for shooting the main subject of the picture effectively.
- When bright light shines from behind the subject (backlighting), the video light is very effective for lighting up the main part of the subject, such as the person's face.
Outdoors, be sure that you do not stand facing the sun.
- Fluorescent lights tend to produce flickering in the recording. Use of the video flash light may help to produce better pictures with less color blur.

C Using the video flash

Use the video flash only with a camcorder which has the PHOTO recording function. The DCR-IP220 / IP210 is the model used for illustration purposes. For details, refer to the operating instructions of your camcorder.
(The instructions below show the operations when the camcorder POWER switch is set to CAMERA. However you can also use the video flash light when the power switch is set to MEMORY.)

1 Set the camcorder POWER switch to CAMERA.
2 Slide the power switch to ⚡ pressing the green button in the direction of the arrow ① to set the power switch of the video flash light to ON.
The charge complete lamp READY blinks as the video flash light starts to charge. When charging is complete, the charge complete lamp READY stops blinking but remains on.
3 Keep pressing the camcorder PHOTO button lightly to confirm the image.
Keep the camcorder PHOTO button pressed down lightly.
The flashing of the video flash light is linked to the PHOTO button. A still picture appears in the viewfinder and the memory indicator comes on.
Recording is not carried out at this point.
To change the still picture, release the camcorder PHOTO button. The video flash light starts charging again after you release the camcorder PHOTO button.
Wait until the battery charge complete lamp READY appears before lightly pressing the PHOTO button again.
Because the camcorder automatically adjusts the brightness when you press the PHOTO button, the image may get darker or the colors may seem to change.
4 Press the camcorder PHOTO button deeper.
When you press the PHOTO button, the bar scroll indicator disappears and recording stops. During recording, captured images appear in the viewfinder or on the LCD.
When you release the PHOTO button, the video flash light automatically starts to recharge after the image is recorded.

After use
Set the power switch to OFF.

Notes
- The appropriate distance between a subject and the video flash light is approx. 1 m to 5 m in a dark room.
- During recording, keep your fingers away from the sensor Ⓐ of this unit. Otherwise, the brightness of the flash cannot be adjusted properly.
- The video flash light will be recharged even if it is completely charged after:
  - you set the power switch to OFF.
  - you set the camcorder POWER switch to OFF.

D Using the video light

Control the video light with the camcorder in standby mode
1 Set the camcorder POWER switch to ON.
2 Set the power switch to LIGHT ON, pressing the green button in the direction of the arrow ① to turn on the video light.
3 Turn on / off the camcorder. The video light is turned on / off in sync with the camcorder.

After use
Set the power switch to OFF.

Note
Make sure the video light has cooled down before storing it.

E Installing the battery pack

Use the battery pack NP-FF50 / FF70.
1 Set the power switch of the video flash light to OFF.
2 Install the battery pack until it clicks, aligning the terminal of the battery pack with the terminal of the video flash light.

removing the battery pack
1 Set the power switch of the video flash light to OFF.
2 Pressing down the battery release lever in the direction of the arrow ①, remove the battery pack in the direction of the arrow ②. (see illustration E)

Note
- Be sure to turn the power switch OFF when installing or removing the battery pack.
- Battery pack performance decreases in low-temperature surroundings (lower than 10˚C) so that the time the battery pack can be used becomes shorter. We recommend the following to use the battery pack longer:
  - Put the battery pack in a pocket to warm it up, and insert it in your video flash light immediately before you start taking shots.
  - We recommend charging the battery pack (by attaching to the AC adapter) in an ambient temperature of between 10˚C to 30˚C (50°F to 86°F).

F Replacing the bulb

Use the Sony XB-5DX halogen lamp (optional).
The bulb is hot when it has just burned out. Wait until the bulb cools down before removing it.
1 Remove the front cover after making sure that the unit is cool enough to handle.
Push in the direction of ① to loosen the lock knob.
Pull in the direction of ② to remove the front cover.
2 When the bulb has cooled sufficiently, grasp it securely and pull it out to replace. Insert the new bulb into the socket straightly.
3 After the bulb has been inserted, attach the front cover straightly.
Align the front cover with ①.
Push ② in the direction of the arrow until the knob is locked.

Notes
- The bulb is hot when it has just burned out. Make sure that the bulb is cool enough to handle.
- To prevent the bulb from being smudged with fingerprints, handle it with a dry cloth. If the bulb is smudged, wipe it completely clean.
- The interior of this unit contains high voltage, opening it can cause electrical shock. To inspect the unit's interior, consult your nearest Sony dealer or Sony Service facility.

Type of trouble and how to correct trouble

If you run into any problem using your video flash light, use the following table to troubleshoot the problem. If the problem persists, turn the video flash light off and contact your Sony dealer or Sony Service facility.

Symptom	Cause and/or Corrective Action
The video flash light lights up if the power switch is set to LIGHT ON while the power switch of your camcorder is set to OFF.	When the power switch of your camcorder is set to OFF, the power switch of the video flash light is not interlocked with it. ➔ To interlock the video flash light with your camcorder, turn on your camcorder, then turn off your camcorder. The video flash light is also turned off and is now interlocked.
The video flash light goes out if you disconnect the LANC cable, although the power switch of the video flash light is set to LIGHT ON and your camcorder is turned on.	This is not a malfunction.
The video flash light remains turned on if you set the power switch of the video flash light to LIGHT ON and disconnect the LANC cable while the power switch of your camcorder is set to OFF.	This is not a malfunction. To turn off the video flash light, set the power switch of the video flash light to OFF. When the LANC cable is not connected, set the power switch of the video flash light to LIGHT ON or OFF to turn on or off the light.

LED indicator
In Flash mode
The indicator flashes ⟶ The indicator lights up
(Charging) (Fully charged)

In Light mode
The indicator flashes
(The battery is nearly dead)

In the following instances the indicator flashes fast:
- The battery is discharged.
➔ Charge the battery fully.
- The rating of the replaced halogen lamp is not correct.
➔ Check the rating of the lamp.
- Something is wrong with the battery pack.
➔ Install a new battery pack.

Français

B Eclairage d'un sujet

- Si vous filmez en intérieur avec la lampe vidéo, vous obtiendrez des images nettes avec de belles couleurs.
- Lors de la prise de vues en grand angle, la lampe vidéo ne pourra peut-être pas éclairer complètement les angles de l'image. Utilisez la lampe vidéo pour bien éclairer et filmer le sujet principal de l'image.
- Quand une lumière intense se trouve derrière le sujet (contre-jour), la lampe vidéo éclaire de manière efficace la partie principale du sujet, par exemple le visage d'une personne.
A l'extérieur, veillez à ne pas filmer face au soleil.
- Les lampes fluorescentes ont tendance à produire un vacillement de l'image. L'utilisation de la lampe vidéo peut améliorer les images en accentuant la netteté des couleurs.

C Utilisation du flash vidéo

Utilisez le flash vidéo seulement avec un camescope présentant le mode PHOTO. Les illustrations représentent le DCR-IP220 / IP210. Pour les détails, consultez le mode d'emploi du camescope.
(Les instructions ci-après montrent les opérations lorsque l'interrupteur POWER du caméscope est réglé sur CAMERA. Toutefois, vous pouvez également utiliser la lampe-flash vidéo lorsque l'interrupteur d'alimentation est réglé sur MEMORY.)
1 Réglez l'interrupteur POWER du caméscope sur CAMERA.
2 Faites glisser l'interrupteur d'alimentation vers ⚡ en appuyant sur le bouton vert dans le sens de la flèche ① afin de régler l'interrupteur d'alimentation de la lampe-flash vidéo sur ON.
Le témoin de charge READY clignote pendant la recharge. Lorsqu'elle est terminée, le témoin READY cesse de clignoter et reste allumé.
3 Tenez la touche PHOTO du camescope légèrement enfoncée jusqu'à ce qu'une image apparaisse.
Le fonctionnement de la lampe-flash vidéo est lié à l'activation de la touche PHOTO. Une image fixe apparaît dans le viseur et l'indicateur d'enregistrement en mémoire s'allume lorsque vous appuyez sur cette touche. L'enregistrement n'est pas encore exécuté à ce moment.
Pour changer d'image, relâchez la touche PHOTO du camescope. Le flash vidéo se recharge aussitôt.
Attendez que le témoin de charge READY apparaisse avant d'appuyer une nouvelle fois légèrement sur la touche PHOTO.
La luminosité s'ajuste lorsque vous appuyez sur la touche PHOTO, et l'image peut paraître plus sombre ou les couleurs différentes à ce moment.
4 Appuyez plus fort sur la touche PHOTO du camescope.
Lorsque vous appuyez sur la touche PHOTO, l'indicateur à barres disparaît et l'enregistrement s'arrête. Pendant l'enregistrement, les images saisies apparaissent dans le viseur ou sur l'écran LCD.
Lorsque vous relâchez la touche PHOTO, la lampe-flash vidéo se recharge dès que l'image est enregistrée.

Après utilisation
Réglez l'interrupteur d'alimentation sur OFF.

Remarques
- La distance appropriée entre un sujet et la lampe-flash vidéo est d'environ 1 à 5 m dans une pièce sombre.
- Pendant la prise de vues, ne pas mettre les doigts sur le capteur Ⓐ de la lampe-flash vidéo, sinon la luminosité du flash ne pourra pas être ajustée correctement.
- La lampe-flash vidéo devra être à nouveau rechargé même après une recharge si :
  - vous avez réglé l'interrupteur d'alimentation du flash sur OFF.
  - vous avez réglé le commutateur d'alimentation sur OFF.

D Utilisation de la lampe vidéo

Pour contrôler la lampe vidéo quand le caméscope est en mode d'attente.
1 Réglez l'interrupteur d'alimentation sur ON.
2 Réglez l'interrupteur d'alimentation sur LIGHT ON en appuyant sur le bouton vert dans le sens de la flèche ① afin d'allumer la lampe vidéo.
3 Mettez le caméscope sous tension / hors tension. La lampe vidéo est allumée / éteinte en même temps que le caméscope.

Après utilisation
Réglez l'interrupteur d'alimentation sur OFF.

Remarque
Assurez-vous que la lampe vidéo est froide avant de la ranger.

E Installation du bloc batterie

Utilisez le bloc batterie NP-FF50 / FF70.
1 Réglez l'interrupteur d'alimentation de la lampe-flash vidéo sur OFF.
2 Poussez le bloc batterie jusqu'à ce qu'il s'encliquette en alignant la borne du bloc batterie sur celle de la lampe-flash vidéo.

Retrait du bloc batterie
1 Réglez l'interrupteur d'alimentation de la lampe-flash vidéo sur OFF.
2 Appuyez sur l'ergot de dégagement de la batterie dans le sens de la flèche ① puis retirez la batterie dans le sens de la flèche ②. (Voir l'illustration E)

Remarques
- Lors de la mise en place ou du retrait du bloc batterie, veillez à mettre l'interrupteur d'alimentation hors tension (OFF).
- Les performances du bloc batterie diminuent dans des environnements à basses températures (inférieures à 10 °C) de sorte que le temps d'utilisation du bloc batterie décroît. Pour optimiser le temps d'utilisation du bloc batterie, nous vous recommandons de :
  - mettre le bloc batterie dans une poche pour le réchauffer et de l'insérer dans votre lampe flash-vidéo juste avant de faire des prises de vue.
  - Nous vous conseillons de charger le bloc batterie (en le fixant à l'adaptateur secteur) à une température ambiante située entre 10 °C et 30 °C (50 °F à 86 °F).

F Remplacement de l'ampoule

Utilisez une lampe halogène Sony XB-5DX (en option).
L'ampoule est brûlante quand elle vient d'être éteinte.
Laissez-la refroidir avant de l'enlever.
1 Enlevez le capot avant après avoir vérifié que la lampe était suffisamment froide.
Poussez dans le sens de ① pour desserrer la bague de serrage.
Tirez dans le sens de ② pour retirer le capot avec avant.
2 Quand l'ampoule est suffisamment froide, prenez-la avec précaution et tirez dessus. Insérez la nouvelle ampoule tout droit dans la douille.
3 Après avoir remplacé l'ampoule, remettez le capot tout droit sur la lampe.
Alignez le capot avant sur ①.
Poussez ② dans le sens de la flèche jusqu'à ce que la bague soit serrée.

Remarques
- L'ampoule reste chaude un moment après avoir été éteinte. Assurez-vous que l'ampoule est suffisamment froide avant de la sortir.
- Pour éviter de laisser des traces de doigts sur l'ampoule, tenez l'ampoule avec un chiffon sec. Si l'ampoule est sale, essuyez-la bien.
- L'intérieur de la lampe contient un circuit haute tension. Afin d'éviter tout risque d'électrocution, ne pas ouvrir la lampe. Pour tout contrôle interne, consultez votre revendeur Sony ou un centre de réparation Sony.

Type de problème et comment y remédier

Si vous rencontrez un problème lors de l'utilisation de votre lampe flash-vidéo, utilisez le tableau suivant pour y remédier. Si le problème persiste, mettez la lampe flash-vidéo hors tension et contactez votre revendeur Sony ou le service après-vente Sony.

Symptôme	Cause et/ou action corrective
La lampe flash-vidéo s'allume lorsque l'interrupteur d'alimentation est réglé sur LIGHT ON alors que l'interrupteur d'alimentation du caméscope est réglé sur OFF.	Lorsque l'interrupteur d'alimentation de votre caméscope est sur OFF, l'interrupteur d'alimentation de la lampe flash-vidéo n'est pas synchronisé avec celui-ci. ➔ Pour synchroniser la lampe flash-vidéo avec votre caméscope, mettez le caméscope sous tension, puis hors tension. La lampe flash-vidéo est également hors tension et maintenant synchronisée.
La lampe flash-vidéo s'éteint lorsque vous débranchez le câble LANC bien que l'interrupteur de la lampe flash-vidéo soit réglé sur LIGHT ON et que votre caméscope soit sous tension.	Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement.
La lampe flash-vidéo reste allumée si vous réglez l'interrupteur d'alimentation de la lampe flash-vidéo sur LIGHT ON et débranchez le câble LANC alors que l'interrupteur d'alimentation du caméscope est sur OFF.	Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement. Pour mettre la lampe flash-vidéo hors tension, réglez l'interrupteur de la lampe flash-vidéo sur OFF. Si le câble LANC n'est pas branché, réglez l'interrupteur d'alimentation de la lampe flash-vidéo sur LIGHT ON ou OFF pour mettre sous tension ou hors tension la lampe.

Témoin LED
En mode Flash
Le témoin clignote ⟶ Le témoin s'allume
(chargement en cours) (chargement terminé)

En mode Light
Le témoin clignote
(La batterie est presque vide)

Le témoin clignote rapidement dans les cas suivants :
- La batterie est déchargée.
➔ Rechargez la batterie complètement.
- La valeur nominale de la lampe halogène de remplacement n'est pas correcte.
➔ Vérifiez la valeur nominale de la lampe.
- Le bloc batterie ne fonctionne pas bien.
➔ Installez un bloc batterie neuf.

Español

B Iluminación de un motivo

- Cuando videofilme en interiores con esta unidad, podrá obtener imágenes claras y de hermosos colores.
- Para tomas en gran angular, es posible que la lámpara para vídeo no ilumine completamente las esquinas de las imágenes. Utilice la lámpara para vídeo para videofilmar efectivamente el motivo principal de la imagen.
- Cuando haya una luz brillante detrás del motivo (contraluz), la lámpara para vídeo será muy efectiva para iluminar la parte principal del motivo, como la cara de una persona.
En exteriores, cerciórese de no colocarse de cara al sol.
- Las luces fluorescentes tienden a producir parpadeo en la videofilmación. La utilización de la lámpara para vídeo puede ayudar a conseguir mejores imágenes con menos difuminación de los colores.

C Utilización del flash para vídeo

Utilice el flash para vídeo solamente con una videocámara que posea función de grabación PHOTO. El modelo utilizado para fines de ilustración es el DCR-IP220 / IP210. Con respecto a los detalles, consulte el manual de instrucciones de la videocámara que vaya a utilizar.
(Las siguientes instrucciones muestran el funcionamiento cuando el interruptor POWER de la videocámara está ajustado en CAMERA. Sin embargo, también es posible utilizar la lámpara / flash para vídeo cuando el interruptor de alimentación está ajustado en MEMORY.)
1 Ajuste el interruptor POWER de la videocámara en CAMERA.
2 Deslice el interruptor de alimentación hacia ⚡ pulsando el botón verde en el sentido de la flecha ① para ajustar el interruptor de alimentación de la lámpara / flash para vídeo en ON.
3 Mantenga ligeramente presionada la tecla PHOTO de la videocámara para confirmar la imagen.
Mantenga ligeramente presionada la tecla PHOTO de la videocámara.
El parpadeo del flash para vídeo está vinculado con la tecla PHOTO. En el visor aparecerá una imagen fija y el indicador de memoria.
La grabación no se realizará en este punto.
Para cambiar la imagen fija, suelte la tecla PHOTO.
Después de haber soltado la tecla PHOTO, la lámpara / flash para vídeo comenzará a cargarse de nuevo.
Espere hasta que se encienda la lámpara de carga completa READY antes de volver a presionar ligeramente la tecla PHOTO.
Como la videocámara ajusta automáticamente el brillo al presionar la tecla PHOTO, la imagen puede obscurecerse o es posible que parezca que los colores han cambiado.
4 Presione a fondo la tecla PHOTO de la videocámara.
Cuando presione la tecla PHOTO, el indicador de barras desplazables desaparecerá y la grabación se parará. Durante la grabación, las imágenes captadas aparecerán en el visor o en la pantalla de cristal líquido.
Cuando suelte la tecla PHOTO, la lámpara / flash para vídeo comenzará a recargarse automáticamente después de haberse grabado la imagen.

Después de la utilización
Ponga el interruptor de alimentación en OFF.

Notas
- La distancia apropiada entre el motivo y la lámpara para vídeo deberá ser de aproximadament 1 a 5 m en una sala obscura.
- Durante la videofilmación, mantenga sus dedos alejados del sensor Ⓐ de esta unidad. De lo contrario, el brillo del flash no se ajustaría adecuadamente.
- La lámpara / flash para vídeo se cargará incluso aunque esté completamente cargada después de:
  - haber puesto el interruptor POWER en OFF.
  - haber puesto el interruptor POWER de la videocámara en OFF.

D Utilización de la lámpara para vídeo

Para controlar la lámpara para vídeo con la videocámara en el modo de espera.
1 Ponga el interruptor POWER de la videocámara en ON.
2 Ajuste el interruptor de alimentación en LIGHT ON, pulsando el botón verde en el sentido de la flecha ① para encender la lámpara para vídeo.
3 Encienda / apague la videocámara. La lámpara para vídeo se enciende / apaga a la misma vez que la videocámara.

Después de la utilización
Ponga el interruptor de alimentación en OFF.

Nota
Antes de guardar la lámpara / flash para vídeo, cerciórese de que se haya enfriado.

E Instalación de la batería

Utilice una batería NP-FF50 / FF70.
1 Ajuste el interruptor de alimentación de la lámpara / flash para vídeo en OFF.
2 Para instalar la batería, haga coincidir su terminal con el de la lámpara / flash para vídeo y presione hasta que oiga un clic.

extracción de la batería
1 Ajuste el interruptor de alimentación de la lámpara / flash para vídeo en OFF.
2 Mientras presiona la palanca de liberación de la batería en el sentido de la flecha ①, extraiga la batería en el sentido de la flecha ②. (consulte la ilustración E)

Notas
- Asegúrese de colocar el interruptor en OFF cuando instale o sustituya la batería.
- El rendimiento de la batería disminuye en entornos con bajas temperaturas (inferiores a 10 ºC) y, en consecuencia, se reduce su tiempo de utilización. Se recomienda realizar los siguientes pasos para prolongar la duración de la batería:
  - Colóquese la batería en el bolsillo para calentarla e instálela en la lámpara / flash para vídeo justo antes de empezar a filmar.
  - Es recomendable cargar la batería (conectándola al adaptador de CA) en una temperatura ambiente entre 10 ºC y 30 ºC.

F Reemplazo de la bombilla

Utilice una bombilla halógena XB-5DX Sony (opcional).
La bombilla estará caliente inmediatamente después de haberse fundido. Espere a que la bombilla se haya enfriado antes de extraerla.
1 Extraiga la cubierta frontal después de haberse cerciorado de que la unidad esté suficientemente fría como para tocarla.
Empuje en el sentido ① para aflojar el mando de bloqueo.
Empuje en el sentido ② para extraer la cubierta frontal.
2 Cuando la bombilla se haya enfriado suficientemente, sujétela con seguridad y tire de ella para reemplazarla.
Inserte de forma recta la nueva bombilla en el casquillo.
3 Después de haber insertado la bombilla, coloque la cubierta frontal en forma recta.
Alinee la cubierta frontal con ①.
Presione ② en el sentido de la flecha hasta que el mando se bloquee.

Notas
- La bombilla estará caliente después de haberse fundido. Cerciórese de que esté suficientemente fría antes de tocarla.
- Para evitar que la bombilla se manche con huellas dactilares, tómela con un paño seco, etc. Si la bombilla se ha manchado, frótela para limpiarla completamente.
- En el interior de esta unidad hay alta tensión, y el abrirla podría causar descargas eléctricas. Para inspeccionar el interior de la unidad, consulte a su proveedor Sony o a un centro de reparaciones Sony.

Problemas y soluciones

Si tiene algún problema con la lámpara / flash para vídeo, utilice la tabla siguiente para solucionarlo. Si el problema persiste, apague la lámpara / flash para vídeo y póngase en contacto con un distribuidor o un centro de servicio Sony.

Problema	Causa y/o acción correctiva
La lámpara / flash para vídeo se ilumina cuando su interruptor de alimentación está ajustado en LIGHT ON y el interruptor de alimentación de la videocámara se encuentra en OFF.	Cuando el interruptor de alimentación de la videocámara está ajustado en OFF, el de la lámpara / flash para vídeo no queda bloqueado. ➔ Para sincronizar el bloqueo de la lámpara / flash para vídeo con la videocámara, encienda primero la videocámara y luego apáguela. La lámpara / flash para vídeo también se apagará y el bloqueo se sincronizará.
La lámpara / flash para vídeo se apaga si desconecta el cable LANC, aunque el interruptor de alimentación de dicha lámpara esté ajustado en LIGHT ON y la videocámara esté encendida.	No se trata de un error de funcionamiento.
La lámpara / flash para vídeo permanece encendida si ajusta su interruptor de alimentación en LIGHT ON y desconecta el cable LANC con el interruptor de alimentación de la videocámara ajustado en OFF.	No se trata de un error de funcionamiento. Para apagar la lámpara / flash para vídeo, ponga su interruptor de alimentación en OFF. Cuando el cable LANC no esté conectado, ponga el interruptor de alimentación de la lámpara / flash para vídeo en LIGHT ON u OFF para encenderla o apagarla.

Indicador LED
En modo Flash
El indicador parpadea ⟶ El indicador se ilumina
(Cargando) (Carga completa)

En el modo Light (Lámpara)
El indicador parpadea
(la batería está a punto de agotarse)

En los casos siguientes, el indicador parpadea deprisa:
- La batería está descargada.
➔ Cárguela completamente.
- La potencia de la nueva lámpara halógena es incorrecta.
➔ Compruébela.
- La batería es defectuosa.
➔ Instale otra.